

(様式1)

自己評価票

作成日 平成28年3月30日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0870101904		
法人名	衛検産業 株式会社		
事業所名	グループホーム ハイジの丘	ユニット名	下市
所在地	310-0844 茨城県水戸市住吉町302-1		
自己評価作成日	平成27年8月26日	評価結果 市町村受理日	平成28年4月12日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action=kouhyou_detail_2015_022_kihon=true&JigyosyoCd=0870101904-00&PrefCd=08&VersionCd=022
-----------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成27年9月28日	評価機関 決 済 日	平成28年3月30日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

今持っている温存している機能を毎日の生活に活かして欲しいと思います。おむつで入所した方は家族の方に紙オムツを持って来ないで布パンツ12・3枚持って来て下さいとお願いします。すぐに時間を見てお誘いすればだんだん失敗は無くなり（排尿の周期が分かる）暑い夏快適な生活が送れます。1週間に一度（水）午後に合同でおやつ作りがあります。皆さん良く覚えていて何も言わなくても、三角巾をかぶったりエプロンを付けて集合します。ケーキを焼く時など男性は大活躍です。[ホイップ]の様な力仕事はまかせなさいと言う感じです。皆さん仲良くワイワイと元気に生活を送っています。毎週（火）詩吟のお稽古があります。教本がありますが見なくても吟じる事ができます。敬老会・忘年会の集まってくれた方にお礼として全員で吟じます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所は地域とのつながりや交流を大切にし、利用者と職員は毎日の散歩で近隣住民と挨拶を交わしたり、野菜のお裾分けを頂くなど日常的に交流している。
利用者と職員は、散歩途中に空き缶拾いや公園の草取りを行うほか、小学校の運動会や神社の祭りに参加するなど、地域の一員として暮らしている。
事業所は自治会員や民生委員、老人会、小学校、中学校、特別支援学校長など、幅広い関係者との交流があり、情報交換やアドバイスを受けてサービスの質の向上に活かしている。
代表者と職員は、日中のリハビリテーションやレクリエーション活動の充実に努めており、詩吟の稽古や英語教師だった利用者による英会話教室、絵画、写経など、利用者の興味や嗜好に合わせた様々な活動ができるよう支援しており、特に週に一度の手作りおやつの時間は、利用者も参加して楽しみの一つとなっている。
職員は利用者に明るく生き生きと支援をし、利用者は穏やかな表情で生活をしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
I 理念に基づく運営			
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	朝の引き継ぎ時、理念を全員で声を出して暗唱しております。一日を心新たに始めることが出来る事につながっており、毎朝行うことで、理念を一人一人が心に留め実践できることを目指しています。 又、皆で口にだすことで職員全体が一体感を持ち、協力しながらより良い介護を実践することができると思っております。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	小学校の児童から運動会の招待状が届き、皆さんで運動会を観に行きました。一年生と手を繋いで行進をして、玉入れに参加してきました。 下校中の二年生の小学生がホームの前で転倒し、子供たちが騒いでいました。ホームに入って貰い、傷の手当をしました。又、学校帰りの子供がトイレも借りに来たりもしております。 運営会議の時に家族のサービスを受けるための相談に乗ったり、民生委員の方から独居の相談を受けたりもしています。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	中学生・高校生・特別支援学校などの職場体験学習の場として開放しております。 地元のボーイスカウト水戸4団ビーバー隊を招いてそば打ち体験をしております。勝手の分からない子供たちや保護者に教えながら行っております。火を皆で起こして外で茹で皆で食しました。
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2月に一度行っております。その中で出席して下さる校長先生にお花見旅行のバス代が高額になるので相談をしたら学校も大変です、今年からずいぶん値上がりしました、と仰っていました。皆さんに近くの花見情報を聞き参考にし、お花見に行ったりしております。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市役所からの事業実態書類などの提出・改善命令等に対しては実施を確実にしております。何度も市役所に通い密に連携をとっております。 事業実態を細かに報告しながら、よりよい介護ができるように努めております。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	車いすを必要な方も、動くときだけにしか使用しません。皆さんと同じように皆さんとお揃いの椅子に座り、本人の希望でソファに座ったり、畳スペースに座ることもあります。お部屋で過ごしたいと仰る時は希望の通りにしております。 玄関は夜間は鍵をかけておりますが、その他の時間帯は開いております。 又、自由に庭に出て庭を眺めたり、職員と一緒に畑の様子を見たり収穫をしたりなども出来るようになっていきます。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている	カンファレンス時に虐待についての勉強会を開いたりしております。 事務所などいつでも見える所に虐待防止のポスターを掲示したり、職員がいつでも閲覧できる本棚に関連書籍を置いています。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	生活保護で家族のいらっしゃらない方が多いので活用したいと思っております。現在は社会福祉協議会を通じて入居している方が1名いらっしゃいます。その際、今後の事についてなども話し合いをさせて頂いております。
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に説明をしております。その方により契約書を入所前に渡しご家族で検討して下さいと、渡す事もあります。改定の際はどこが改定されたかなどを詳しく記入した手紙と共にお渡しして理解を得ております。その際電話で質問などがある場合は電話でも対応をしております。
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営委員にご家族が入っております。意見や要望などを出して頂ける機会だと思っております。また、委員の中には他の施設に入所している方がおります。みなで話を聞いたりしております。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	運営会議の書類等は誰もが閲覧できる様にしております。一ヶ月に一度カンファレンスの他に、時折、職員同士の食事会などを開き意見・要望など聞いたりしております。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員に昼休みをゆっくりと過ごしてもらう為に、休憩室を新設しました。休みは希望休を勤務表を作る10日前までに提出してもらいなるべく希望にそうようにしています。
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修会のパンフレットを回覧したりしておりますが、自分から進んで研修する職員があまりおりません。ですので、会社から職員に合う研修を探して研修してもらっております。研修報告書を提出してもらい、勉強会等、他の職員にも教える機会を作っています。それにより、研修を受けた職員は理解を深めることが出来ます。また受けていない職員にも覚えてきたことなどを共有することができます。また職員の興味につながり、新しい研修に参加することにも繋がります。
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	経営者・管理者がボランティアのクラブに入会して交流しております。また、研修会などで知り合った同業者と連絡を取り合っております。退職した職員が野菜を持って遊びに来たり、犬を連れて遊びに来たりしております。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	家族だけでの見学が多いので、本人の見学を勧めております。まず自分の目で確かめて良かったら入って下さいと言っています。仕方がないから入ると仰る方にも選ぶ権利があります。嫌なら又、別の場所を探しましょうと言っています。その方に寄り添い話を聞きながら、日々の生活に慣れてもらうのが1番です。
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	先ずご家族の話を聞き、本人からも話を聞きどうしたいのかを聞きます。利用者さんがこれからどんな生活を送ったら良いのか話合います。より良い生活が出来るように、どんどん面会に来るようにして下さることを推奨しております。
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族の情報と医療情報をまとめ本人の意向に添ってその時に合った支援をしたいと思っております。
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の先輩として少し先に歩いているだけ、順番だから私もすぐ行く道です。と口ぐせです。
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者さんが入所することで、留守になる家に猫が一匹残ってしまうことになりました。誰が面倒見るかということになり、家族と話合った結果家の鍵を預かって一週間に一度利用者さんと一緒に通いました。餌、トイレの始末をしました。猫の為に入所を拒んでいた利用者さんは落ち着き生活を送っております。
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	猫の世話に通い近所の方から、自宅に居た時の話を聞いたり、庭に咲いている花を頂いたりしました。本人への「元気になったね」という言葉が励みになっているようです。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	仲の良い方とテーブルを一緒にするようにしております。入浴も仲の良い方と一緒にするようにしております。また台所などのお手伝いも一緒にお願しております。一人である方には、犬を抱っこして頂いたりして、他利用者さんと「可愛いね」などとお話したりも出来るようにしています。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	前に入居していらっしゃったご家族が野菜や玄関の花（菊鉢）を持って来て下さって、遊んでいってくれたりしています。相談や支援という言葉はおこがましいかも知れません。こちらの方が支援して頂いていると感謝しております。
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ケアプランの目標設定の為にアセスメントを取っております。普段の交わりの中で一人一人の意向を伺い、スタッフ間で申し送りをしております。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や御家族のお話を傾聴し、生活歴などの把握に努めています。生い立ちや家族、趣味、仕事などを聞いています。また、前に居た施設などから介護サマリーなどを頂き、どんな方なのか、どんな生活をしていたのかなどを教えてくださいしています 個人ファイルは職員が自由に閲覧できるようになっています。
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	カンファレンス時に利用者さん一人一人について深い話し合いが出来るように努めております。また、朝夕の申し送り時にその日あった事などを伝え、職員間で情報を共有しております。
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	計画作成担当者が介護計画を作成する際には、本人や家族だけでなく、職員などにも聞き取りを行っております。そこで出たアイデアなどを計画に反映させております。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	職員の言葉で毎日個別の記録を残しております。職員はそれらを自由に閲覧することが出来ます。また、実践や計画作成時に役立ております。
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	会社の「社会保険協会」の補助券を利用して梨狩りに行ったり、利用者さんの御家族の職場「五浦美術館」に行ったことがあります。また、近所の食堂の協力で貸し切り状態で昼食を食べることもありました。職員が入会しているガールスカウト・ボーイスカウトの子供たちが遊びに来てくれることもあります。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	認知予防推進のみと友縁会メンバーが時々来て下さいます。ゲーム・歌・朗読・ひよっとこ踊りをして頂いたりします。「いきいき体操・詩吟」有資格者が10年以上に渡って毎週ボランティアに来てくださっております。皆さんで楽しみにしています。また中学生・高校生の職場実習に使って頂いております。
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ホームで対応している受診は、かかりつけ医。それも家族が連れて行きます。家族が無理な場合は半月に一度の訪問診療に切り替え医療を受けられるように支援しています。
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	職員に看護師がいるので、常に対応しております。
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時は情報提供や看護サマリーを頂き、病院と施設とが連携出来るように対応しております。また、病院関係者と蜜に連絡を取り合い、関係づくりをしております。
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	まだ終末期としての支援は実行に移した事はありませんが、御家族が望まれるのであれば話し合いをしたいと思います。医師との契約は交わしております。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	カンファレンスの話し合いで行います。管理者が救急救命の勉強をので手当や気道確保など訓練を行っております。また、こういう時はなど疑問などはすぐに答えられるようにしております。
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練は年2回行っております。近所の方にも声をかけ参加してもらっています。職員と一緒に水消火器で訓練してもらっています。火災訓練は消防署と行っております。地震の避難訓練はシェイクアウト訓練に参加しております。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	その人によって、言葉かけの仕方などを職員同士で話し合っ変えています。 その人が楽しく気持ちよく過ごせるように話題の方向なども考えながら接するように努めております。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	何もしたがらない方には積極的に色々なことを挑戦して頂いたりしています。何がしたいか聞くとお料理などと仰るので、昼食の手伝いなどをして頂くこともあります。できるだけ趣味ややりたいと思えることを見つけていこうと努力しております。
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お昼寝の時間などを作って自由に過ごせる時間を作っております。また、夕食前の時間には自室で休んだり、テレビを見たり自由に過ごせるようにしております。 また消灯時間までは自由に過ごすことが出来、テレビを見たり、お話をしたり、消灯時間前に就寝したりなど思い思いに過ごしていらっします。
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	化粧水乳液、おしろい・眉墨を買ってきてもらいたいという方に定期的を買ってきて、使用してもらっています。その方は口紅をさしたりなども毎日しております。定期的に爪の手入れもしております。10色ほどのマネキュアの中から好きな色を選んで塗り、各々おしゃれを楽しんでおります。昔を懐かしんだりしながら手を眺めていつも嬉しそうにしております。男性はひげは個人で剃りますが、剃り残しがあつたり希望のある方にはこちらで剃ることもしております。
40	15	○食事を楽しむことのできる支援	利用者さんと毎週水曜日レクレーションの時間におやつ作りをしております。利用者さん同士で協力して作っています。ケーキやどら焼き、蒸しパンなどのおやつ系から時々はうどんやそば、ピザなども作ることもあります。 普段の食事作りでは、利用者さんにお米を研いでもらったり、野菜の皮を剥いて貰ったり、おかげによつてお皿を選んで盛り付けをして頂いたりしております。食事をした後はお皿を拭いて貰ったり片付けをして頂いたりしております。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	以前、利用していた、タイヘイクッキングデポの高齢者施設向けのメニューを使用しております。栄養士がレシピを監修しており、カロリーコントロールされたメニューを作っております。作り方のレシピもあり、味付けなども管理されています。 水分制限のある方にはコップを小さくしたりして工夫しております。
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	入れ歯の方からは入れ歯を毎日預かり、洗浄し、消毒しております。口臭が気になる方にはマウスウォッシュを購入して頂き、職員立ち会いのもと、洗浄して頂いております。 また食事の後には、口腔ケアをするように声掛けをしております。一人では難しい方には職員がついていき、きちんと歯磨きや口をゆすいで頂けるようにしております。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人一人の排泄の時間を計算しています。必要な方には夜間なども起こすことで、失禁などを少しでも減らすように努めております。おむつの利用は極力減らし、トイレに行って排泄をしています。また、毎朝行う体操に尿漏れ防止体操を盛り込み毎日継続的に行っております。
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	全員毎日便通があったかどうかを調べております。利用者さん同士を見比べて、何に原因があるのかを見ます。一定期間ない方には、お腹のマッサージを促したり、トイレに少し座ってみるということをしております。お腹の動きを良くする運動をしたりなどしております。それでも出ない場合は病院に連携を諮って、便秘のお薬を処方して頂いたりしております。
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴は毎日出来るようにしております。利用者さんの希望でお風呂に入る・入らない等を決めることが出来ます。自分専用の籠にシャンプーと石鹸を入れて持ってきています。個々で違うのでとても嬉しい様子です。お風呂の中では皆さんで歌を歌ったりおしゃべりをしたり楽しく過ごしております。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	消灯時間を決めて安眠に務めるようにしています。また、徘徊者や眠れない方が居ないかどうか定期的に職員が巡回しています。お部屋に一人でいるのは不安という方には、職員の目の届く場所に布団を敷いて安心して眠れるようにしています。それにより安心して眠れる環境を作っております。
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の処方箋状況は常に職員がいつでも見れる個人ファイルに入っており、疑問があればすぐに閲覧することが出来ます。
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎日のお茶は自分で選択することが出来ます。コーヒーや昆布茶、緑茶などから選ぶことが出来ます。午前中のレクレーションの時間は自分の好きなことが出来ます。はりっぺ・絵を描く・縫い物・編み物・かご作りなど昔から嗜んでいたものから、ホームに来て始めたことまで様々ですが楽しんで行っています。そば打ちやお米を炊いておにぎりをつくる時は外で火を焚くのですが、その際は男性に火おこしをして頂いております。おにぎり作りは女性にやって頂いたり分担しております。
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	家族がいる方には積極的に外に連れ出すように働きかけています。買い物や外で食事をするのが嬉しい様です。春には、全員で温泉に行ったりするなど遠足を催しております。近所の定食屋さんやファミリーレストランに食事に行くこともあります。自分で好きなものを注文して食べています。時々、コンビニへ買い物に行って好きなおやつを買ってこれるような機会を設けております。ただ、家族が居ない方にとっては家族がいる方と比較してしまうと、やはり物足りない部分も出てきてしまうかもしれません。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>コンビニで予算を決めて好きな物（おやつ）を買ったりしております。孫にお小遣いももらい、ひ孫にあげたりしています。</p>
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>玄関に公衆電話あり、家族に自由にかけていたりしています。遠い家族には、ハガキに住所を書いてあげ、内容を本人が書き投函したりしています。お正月の時期には家族のいる利用者さんは年賀状を出したりしています。また利用者さん全員に、職員が年賀状を出しています。</p>
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>風通しの良い様に中庭があります。全員の部屋から中庭のもみじがみえます。春には新緑、秋は紅葉が体感できます。皆さんが気になる畑があり、ミニトマトが赤くなったと言い、部屋の前のスイカは何個あると話題になることがしばしばです。居間には季節の草花をおいております。ランなどの為に外には温室があります。利用者さんが水をかけてくれたりしています。</p>
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>和室スペースがあり横になることができます。食堂は座る所が決められているので安心してしています。自由に座ることが出来るソファもあり仲良く話をしたりテレビを見たりすることができます。</p>
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>先ずは家で使っていた布団を持って来てもらい、その他に写真や大切にしていた物を持って来て頂いております。部屋が寂しい時は施設の家具を使って頂くこともあります。また工作で作った作品を飾ったりもしております。何も持っていない方には布団からタオル・着替えまで貸した時もありました。</p>
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>至る所に手摺があり、つかまりながら歩く事ができます。各部屋にはトイレ・洗面台がついているので、自由にゆっくりトイレが使うことができます。お部屋の前には手作りの可愛い表札がかけられて、自分のお部屋と他人のお部屋とを区別することができます。</p>

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが ○ 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ毎日のように ○ 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○ 1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○ 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない